### Angle

# 次世代に繋げる

#### はじめに

です。
えひめ農林漁業振興機構理事長の三好

当機構の事業は二分野あり、第一は第この3月で2年が経過します。 農林漁業振興機構」の理事長に就任し、理者をしていましたが、翌4月「えひめ理者をしていましたが、翌4月「えひめ

確保。一次産業全般にわたる「後継者」の育成当機構の事業は二分野あり、第一は第

部の山側にため池があり、ため池から両

まとまった圃場がなだらかに続いていま脇を山の尾根に挟まれながら、整備され

ため池の堤に立ちますと、下に広が

200 hくらいになるでしょう。 200 hくらいになるでしょう。 200 hくらいになるでしょう。 担い手にお貸しできた面積は、 の方々にお貸しして、農地を集積・集約 の方々がら農地をお預かりし、担い手 番の方々から農地をお預かりし、担い手

る整地された耕地がよく見えます。

二つほど書いてみます。いますが、その過程で思いついたことをなかで、関係者の方々からお話を伺ってさて、農地の集積・集約を行っている

## 昔々と現在、未来

生さんがお住まいの集落の地形は、上で4人の理事の方々からお話を伺いまが、皆さん私とほぼ同じ年輩でして、理が、皆さん私とほぼ同じ年輩でして、理が、皆さんが71歳、副理事長さんが63歳、それに理事さんが88歳と9歳でした。私は昭和24年の生まれで66歳ですが、皆さんがお住まいの集業生産法人にお邪魔した日、県内の農業生産法人にお邪魔した日、県内の農業生産法人にお邪魔した日、県内の農業生産法人にお邪魔した日、県内の農業生産法人にお邪魔した日、県内の農業生産法人にお邪魔した日、東京の地形は、上の大きの地形は、上の大きの地域を表現した。

伝来の農地を協力して管理していらっまれ育った集落に帰って来られて、先祖定年退職あるいは早期退職したあと、生族を含めた付合いを行ってきたなかで、半農半勤め』の傍ら冠婚葬祭、集落行生までは同じ学校に通い、現役の間は生までは同じ学校に通い、現役の間はお話をしているうちに分かったことお話をしているうちに分かったこと



理事長 三好 大三郎公益財団法人 えひめ農林漁業振興機構



なだらかに続く圃場

た。 しゃる顔見知りの方々だということでし

を取り結び、農業という職業に従事されたのでした。人の入れ替わりが激しいできたのだという感慨が湧いてきて、皆さんのお顔の後ろに代々の方々のお顔がさんのお顔の後ろに代々の方々のお顔があれたのでした。人の入れ替わりが激しいれたのでした。人の入れ替わりが激しいれたのでした。人の入れ替わりが激しいれたのでした。人の入れ替わりが激しいれたのでした。人の入れ替わりが激しいれたのでした。人の入れ替わりが激しいれたのでした。人の入れ替わりが激しいれたのという。 長下ろした耕地の姿なども思い起こしなく地縁の経験がないものですから、とて、秋の日和の中ため池の堤からも不思議な気持ちでした。

いる方々は、記憶のかなたのずっと以前 年以上の、長寿企業、などと喧伝されて こっており、家の系譜は『万世一系』と 前は、天変地異、飢饉や戦乱が頻繁に起 史をかなたにさかのぼっても代々農家で ら、現在農業を営まれている方々は、歴 これまでは不可能であったはず。ですか いますが、なんのなんの!今お会いして ように思うが。」との返事でした。創業百 いうわけにはいかないでしょうが。「い あったのではないか。もっとも、近世以 参入するということは、新田開発以外は いくということはあっても、農業に新規 最古の職業であって、農業から外に出て と伺うと、「関ケ原以降は動いていない つごろここに定着されたのですかね。」 そこで思うのですが農業というのは

方々の末裔なのでした。から農業という家業を代々営んできた

ます。 もつと先には、社会が村と百姓たちで満 るということです。また、村の数を見ま ち溢れていた江戸時代が265年にわ 村に変貌し、農業を中心とした村の世界 いきますと、周囲の風景はどんどんと農 かのぼって明治31年では1万3、068 すと、全国の村数は現在では183村、 の数は明治初期には8パーセントに達す 事者のたった4パーセントしかありませ 点では村の数は7万を超えていたといい たって存在していまして、この社会は人 イムマシンで百数十年をさかのぼって (91・5パーセント)とのこと。今からタ 全市町村数の10パーセントですが、さ ん。しかしながら、時代をどんどん過去 次産業全体で見ても、従事者は全産業従 口の8割前後が百姓身分に属し、幕末時 に囲まれるようになります。さらにその にさかのぼりますと、第 ところでその農業の現在ですが、 一次産業従事者 第

9。 私の申し上げたいのは、次のことで

耕作放棄地率等々、どの指標を見ても惨つ、農業就業人口の年齢構成、農家数、今、農業産出額、耕地面積、農業就業人間は、農業(林業、漁業も含め)と村の世間は、農業(林業、漁業も含め)と村の世間は、農業(林業、漁業も含め)と村の世間は、農業(林業、漁業も含め)と村の世間は、農業(林業、漁業も含め)と村の世間は、農業(林業、漁業も含め)と村の世間は、農業(林業、漁業も含め)と村の世間は、農業(林業、漁業も含め)と村の世間は、農業(本質の指標を見ても惨い。

では、これではでいるのでしたの 段階の姿なのだろうということです。 降急速に衰退、崩壊してきた過程の最終 と存続してきた農業・農村が、明治期以 と存続してきた農業・農村が、明治期以 が現在目にしているのは、有史以来営々 にる数値です。末期の数値です。我々

か?
では、これからはどうなるのでしょう

ます。
話は、先の農業生産法人での話に戻り

した。

「集落での合意形成がなかなか難し

「集落での合意形成がなかなかすと、ある方が次のような発言をされま

いった現状をお聞きしていた中で、「どい」、「意見がなかなか一致しない」と

よ。一握っとるからなー。まだまだ封建的なん「言っちゃ悪いが、年寄りが実権を

「えー、本当ですか。」と私。

「30代、40代、そして50代の連中なんかに言わせると、75歳以上の人たちが百姓を辞めるようになれば、すぐまとまるようになると言っとります。皆さん、まだを辞めるようになれば、すぐまとまるようになかなか偉いです。『年間のです。』と言われるのです。」とのことのです。

と、「もう、どうなるのですかね?」と尋ね

率的で合理的な農業経営、集落運営がでら、そうなるともっと風通しの良い、効「こういう方々も、早晩引退されるか

の、中継ぎ、ということで。」とのことで きるようになるでしょうな。私どもはそ

た際の彼の発言。 ところで、ある青年農業者と話してい

ね! ね!君たちどうなるのだろう?困るよ れば私の世界が来ます。もっとも、自分 |どういうこと?| いいえ、全然。」 だけど、農業者の数が減っているよ 競争者が減りますから。頑張ってい 一と私。

すけどね。」ということでした。 の農地の周りが耕作放棄地になると困り ますので、それは周囲と協調して防ぎま 少しは希望がありますか?

や隆起という意味で、年齢別に人口構成 を見ると若者の数が突出して多く、そこ 子の総人口の30パーセントを超えると すと、15歳から23歳までの男子人口が男 ル・ハインゾーンという学者によりま いだとするもので、例えばドイツのグナ の理論です。世代間対立を煽るわけでは います。ユースは若者、バルジは膨らみ 「ユース・バルジ現象」が起きるとして 社会の混乱の原因を人口の構造のせ ここで私の頭に浮ぶのは、ある社会学

ないのですが、次のようなものです。

青年農業者との意見交換

だ、若者の反乱だとするものです。 のです。テロや内戦の原因は、宗教や思 が隆起している現象です。 想のせいではなく、人口構成によるもの できないと、テロや内戦となるというも くなって、若者による「ポストよこせ圧 るポスト数に対して提供できる数が少な 力」が高まる。国家がこれに適切に対応 ユース・バルジになると、若者の求め

歳以下の若者の数は、 正反対で「エルダー・バルジ」です。24 と、日本の人口構成はユース・バルジの ところで、こういった観点から見ます

人口の4分の1以

若者へのエール

のようなお願いをしました。 いさつの終わりに青年農業者の方々に次 青年農業者連絡協議会の会合では、ごあ 著の確保・育成ですが、今年のえひめ 私のもう一つの仕事は、農林漁業の後

たい』。次に、『果敢に挑戦する勇気と広

「まず、『作る力を磨きあげていただき

最後は、『青年農業者同士の連携の輪を く外を見る余裕を持っていただきたい』

えていってください。『未来は青年のも やってきます。その時代に向けて力を蓄 広げていただきたい」。 もうすぐ鍋蓋が取り払われる時代が

世代という凸型の集団になります。 が多い分、それが年長の世代を突き上げ るパワーをもたらして、若者集団は闘争 下です。ユース・バルジでは、若者の数

形の圧力がかかる。若者世代の上に重く ると、年長世代から若者世代に上から無 齢層の鍋蓋効果により、若者は内向して 若者集団は内向的な凹型集団となる。高 年長世代の数の方が若者世代より多くな 会問題が顕著となるとのことです。 ては引きこもりや自殺の多発といった社 て厚い、鍋蓋、が置かれたようなもので、 しまい、元気がなくなり、社会現象とし ところが、エルダー・バルジ、つまり